

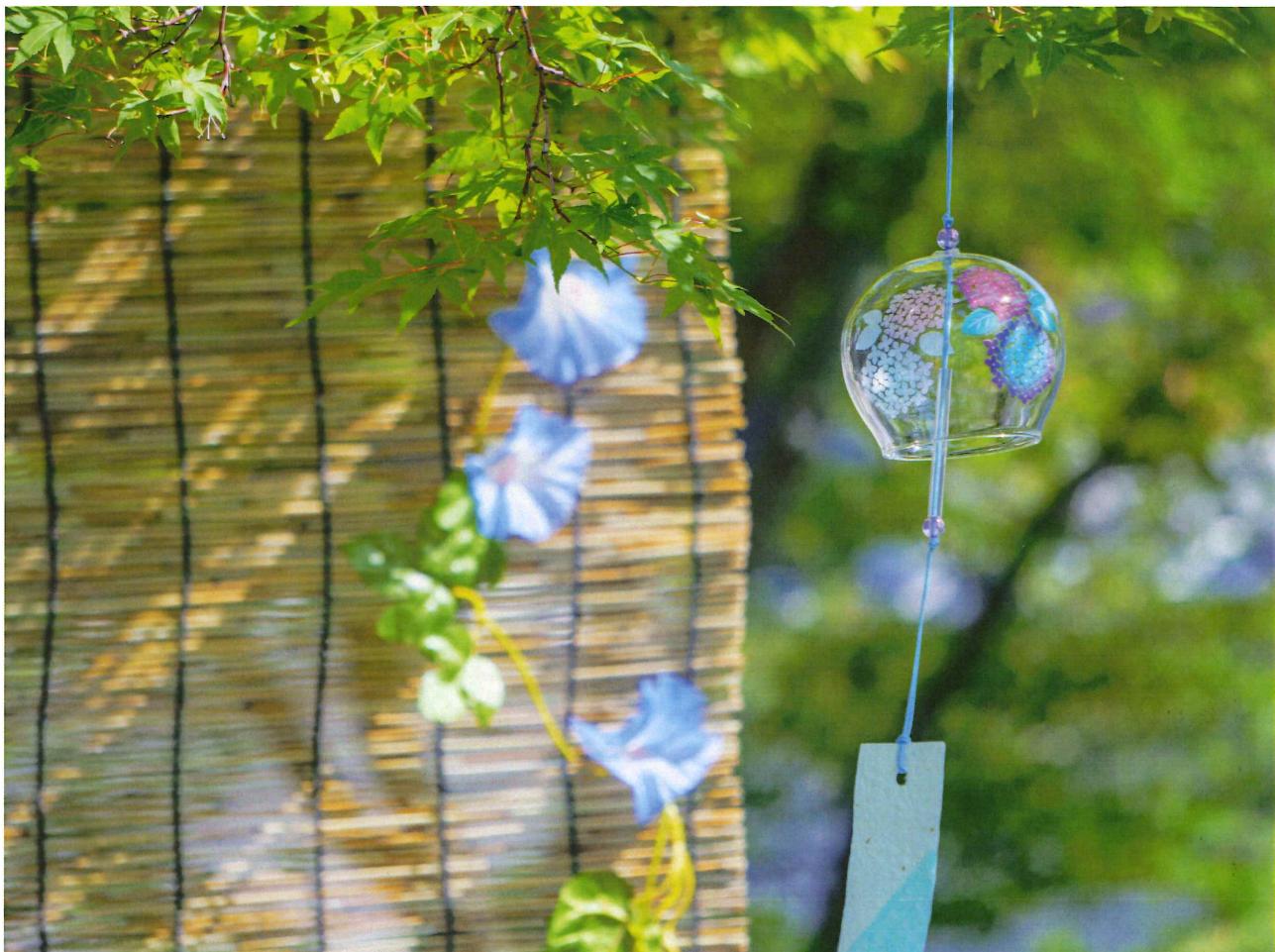
にっせんかい

日扇会ニュース

地域の皆様と日扇会の意見交換・情報提供のための紙面です

2021年

vol.53



(もみじの木の下の風鈴 撮影者：ぴぴふおと)

区民健診のお知らせ

今年の区民健診が始まっております。期限は11月30日までですが、例年10～11月はとても込み合います。当院として新型コロナには万全の対策を講じておりますが、その終息にはまだ時間がかかることが予測されますので、今年は特に早めの健診をお勧めいたします。

「健診」の意義については、後段に解説させて頂いておりますので、お読みいただければと思います。なお、健診は予約制ですので、その内容などを含めご不明な点がございましたら、受付や看護師に遠慮なくお申し出ください。



ご挨拶

はじめまして。

この度6月1日付で、新しく事務長に就任いたしました神保淳一と申します。

2025年6月には、当院は開院50周年目にあたることで、この歴史と伝統のある日扇会第一病院に勤めることとなりまして、たいへんうれしく思いますとともに、事務長職として重い責任を感じております。



私は、社会人として大事にしてきたことが3点あり、僭越ながら記させていただきますと、

1つは、情報はできる限り共有することで、仕事が円滑に回るようにすること。

2つ目は、その日の仕事はその日のうちにできる限り解決して、翌日は新たな気持ちで臨むこと。

3つ目は、次に何が起こるか、極力先を読んであらかじめ準備・心積もりをしておくこと。

基本的なことばかりですが、これからも自戒しつつ日々努力を続けていきたいと思っております。



生まれは、北海道札幌市で寒さにはめっぽう強かったのですが、長らく北海道を離れている間に、今では寒さも暑さもすっかり苦手になってしましました。

一方、体を動かすことは好きな方で、スキー、バスケットボール、登山に加え最近ではテニスなどに親しんでおります。



事務長
じんぱ
神保 淳一



私は、銀行に入行して以来、40年余りにわたって主として融資業務に携わってきましたが、今回ご縁があって、初めて医療業界という直接人命にかかる職務に就くことになりました。

業務内容等慣れないことが多く毎日バタバタしておりますが、「医療は患者さんのために存在する」という当院の理念に恥じないよう、一日でも早く患者さんはじめ地域医療に貢献すべく一生懸命努めてまいる所存です。

今後のご指導、ご鞭撻を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「けんしん」がスタートしました

日扇会は地域の「かかりつけ医」として健康診断・人間ドックにも力を入れております。今年は、目黒区の胃がん検診は5月1日から、特定健診とその他がん検診は6月1日からスタートしました。

「けんしん」とは

病院で行われる「けんしん」には、健診と検診があります。どちらも検査を受ける事ですが、単なる漢字違いではなく目的も異なります。健診は健康診断の略であり、健康を診断するものです。生活習慣病の予防・生活習慣を見直すことが目的の「一次予防」となります。もう一つの検診は、ある特定の臓器に対して異常があるか・無いかを検査する、予防医学的には早期発見が目的の「二次予防」となります。



種類と法律

「健康診断」には、40歳以上の国民健康保険加入者を対象にメタボリックシンドロームに着目した健康診断、労働安全衛生法により定められた健康診断（企業健診）、個人の判断で受けられる任意健康診断（人間ドック）などがあります。種類によって実施される検査項目や内容に違いがあり約8～15項目の検査（問診・身体計測・血圧・心電図・胸部レントゲン・検尿・血液検査など）が一般的ですが、人間ドックは、法的な義務はなく個人の意思によって受診しますが、大きな違いは検査項目の多さです。従って人間ドックは健康診断だけではわからない病気の早期発見も可能になります。他方「検診」は、特定の臓器に対しての異常があるか無いかを診断するもので、例えば、胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・子宮がん検診・乳がん検診などの各種がん検診がこれにあたります。昭和57年から市区町村主体のがん検診もあります

外来スタッフ 看護師 林 久美子

が、日扇会では胃がん・大腸がん・肺がん検診等の対策型検診をお受けしております。また、人間ドックなどで任意型検診もお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。



体のメンテナンス

体のメンテナンスという言葉を調べてみると、「運動をしましょう！」というものが多いと感じます。近年では、ランニングやウォーキングなど健康意識が高い方を良くお見かけしますし、ストレッチやヨガ、フィットネス動画のチャンネルは YouTube で多く存在します。次に多いのは整体やマッサージでしょうか。しかし、体のメンテナンスの第一歩は「自分の体を気にすること」です。このような健康管理・体調管理の一つが健診・検診です。まずは、ご自分の体をより良く知ることから、健康を意識してみましょう！

最後に

前年度は、新型コロナウィルス感染拡大のため例年とは異なる体制で健診・検診がスタートしましたが、今年は前年度の学びを活かし、感染防止対策に努め、皆さまが安心して健診・検診を受診できるよう万全の体制を整えております。ぜひ、年に1回体のメンテナンスとして自己負担ゼロの特定健診をご利用ください。今年は、11月30日までの期限（肺がん検診2月末、胃がん検診3月末まで）となっております。お早目の健診・検診のご予約をおすすめします。同時に検査項目がより充実した人間ドック・企業健診のご予約も隨時お受けしております。どうぞ、お気軽にご相談ください。外来スタッフ一同、こころよりお待ち致しております。



病棟の現状をご紹介します。

病棟担当看護師 菅原 奈美



■1 当院の病棟は全部で46床ありますが、入院患者さんを受け入れる20床の一般病床と地域包括ケア病床26床があります。なお、院内にはその他に介護医療院19床もあります。以下では、私が主として担当しております一般病棟について、お話をさせていただこうと思います。看護師は日勤と夜勤の2交替制で勤務しており、日勤は朝9時から17時までの勤務で、リーダーを配置したチームナーシングを行っています。同時に、入院から退院まで決まった看護師が患者さんを責任をもってお世話させていただくために、プライマリナーシングという方法も併用しています。そして、患者さんが退院されてご自宅で療養されるとき、患者さんをご家族がどのように見守っていけばよいのか、どのような援助が必要かなど、退院後のご自宅での生活をイメージしながら医師や薬剤師等他職種とも意見を交換して方針を決定しています。

■2 入院されている患者さんは、呼吸器や循環器疾患の方が多く、ご自宅に帰るためのリハビリ目的で入院している患者さんもいらっしゃいます。また、骨折や廃用症候群などの疾患の方もいらっしゃいます。認知症疾患の方もいらっしゃいますがご高齢者が多く、且ついくつかの疾病を持っておられる方がほとんどで、治療・看護も難しく感じることが少なくありません。認知症患者さんの治療・看護を行うには、まず患者さんの安全を第一に考えますが、徘徊等が著しい場合には、センサーのついたマットなどの「見守り」機器を使わせて頂く場合もあります。ただし、その場合はご家族の同意をいただいたうえで使用します。使用にあたっては、毎朝本当に当該患者さんに見守り機器は必要なのか、またその患者さんに適した見守り機器を使用しているのか?など、前日の様子や夜間の様子を夜勤スタッフを含め日勤に入るスタッフと話し合いをしたうえで、注意深く使用しています。



■3 このように認知症患者さんの見守り機器に関しては、患者さんの自由を奪ってはいないかなど、倫理・人権に基づいた判断をしながら看護にあたっていますが、看護させていただいている私たちも葛藤のなかでお世話をさせていただいている状況です。そのような時リーダー含め、メンバー間で話し合いをしますが、とても相談しやすい雰囲気の病棟なので、一人で悩みこむことなく、非常に恵まれた職場環境であると思っています。

今年も一般病棟では、新入看護師を迎える新しい風が吹く中、患者さんの目標とする退院に向け日々努力して参りたいと思っています。

編集発行人

医療法人財団 日扇会

〒152-0031
目黒区中根2-10-20

TEL: 03-3718-7281(代表)

FAX: 03-3718-7736

ホームページアドレス:

<http://www2.nissenkai.or.jp/>

季刊紙 発行日: 6月30日

理念 医療は患者さんのために存在する

使命 患者さんの「かかりつけ医」として地域医療に貢献します

基本方針

1. 私たちは、患者さんの権利と人格を尊重した医療を行います
2. 私たちは、プロとしての責任と誇りをもって自己研鑽に励みます
3. 私たちは、病院全体の力を結集して患者さんを支えます
4. 私たちは、信頼される医療を継続するため徹底したリスク管理を行います
5. 私たちは、全職員が思いやりとやりがいを持って医療を行う活気ある病院を作ります
6. 私たちは、担うべき役割を将来とも継続的に果たすため、安定した経営を維持します

